



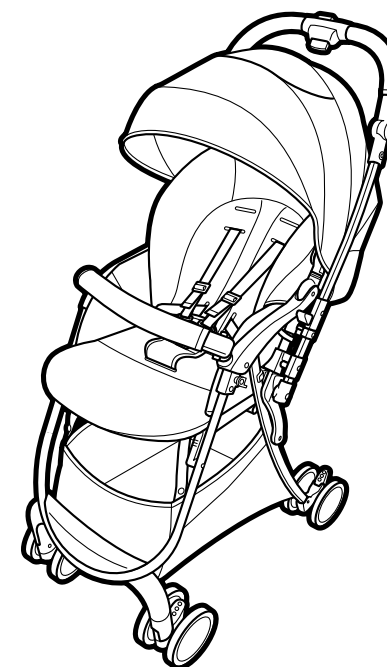
ベビーカー

グレコ シティスター Citi Star

このたびはGRACO®ベビーカーをお買い上げいただき、ありがとうございます。
この製品は生後1カ月※～36カ月(体重約15kg)までの乳幼児1人用ベビーカーです。

※ここでいう生後1カ月とは、出生時に体重2.5kg以上かつ在胎週数37週以上を満たし、1カ月を経過した乳児を指します。この条件を満たさないお子さまへのご使用については医師にご相談ください。

取扱説明書／保証書



SG安全基準A形

- ・本書に使用しているイラストは、操作方法や仕組みなどを分かりやすくするため、実物とは多少異なる場合があります。
- ・本書の内容について、誤りや記載もれなどお気づきの点がありましたら、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。
- ・製品の品質向上のため予告なしに一部仕様変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。

ニューウェルブランズ・ジャパン合同会社

〒108-0023 東京都港区芝浦4-9-25 芝浦スクエアビル
ベビー事業部 お客様サポートセンター TEL 0120-415-814 携帯電話からご利用の場合(通話料お客様負担) TEL 0570-004-155

ご使用前に、取扱説明書(本書)をよくお読みのうえ正しくお使いください。
お読みになった後は、本書はいつも取り出せる場所に必ず保管してください。
本書に記載されている以外の方法で使用しないでください。製品の機能が
充分発揮できないだけでなく大変危険です。



目次

ご使用前に必ずお読みください	2
SG基準について	2
本書の表示について	2
ご使用上の注意	3
警告	3
注意	6
製品を取り出した時に	7
部品リスト	7
各部の名称	8
ベビーカーの開き方	9
ハンドルの切替え	11
キャスターの使い方(前輪のみ)	12
ストッパーの使い方(後輪のみ)	13
フロントガードの開き方	14
カゴの使い方	14
お子さまの乗せ方	15
肩ベルトの高さ調節	19
リクライニングの角度調節	20
日除けの使い方	21
ヘッドサポートの使い方	22
ベビーカーの折りたたみ方	23
シートライナー(一部モデルのみ)の使い方	25
日除けの取り外し方	26
フロントガードカバーの取り外し方	26
シートの取り外し方	27
シートの取り付け方	29
お手入れとメンテナンス	31
保管方法	32
廃棄方法	32
SGマーク制度について	32
保証とアフターサービスについて	33
保証書	34

ご使用前に必ずお読みください



SG基準について


SGマークが表示されたベビーカーは、製品安全協会の規定で定められた、つぎのような基準を満たしています。(この製品は、SG安全基準A形合格品です。)


適用範囲	このベビーカーは、一般家庭を対象として、乳幼児を乗せ、外気浴、買物などに使用する1人乗り用のベビーカーです。
形式の分類	A形 生後1カ月を過ぎまだ首がすわらない乳児から寝かせた姿勢で使用できるベビーカー。
使用範囲	生後1カ月から36カ月まで
望ましい連続使用時間	寝かせた姿勢:2時間以内 座らせた姿勢:1時間以内
背もたれ角度	150°以上
車輪の外径	115mm以上

本書の表示について

「警告」、「注意」の表示は、これらの注意事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度の大きさにより区分したもので、大変重要な内容です。必ずお守りください。

表示	表示の内容
 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

禁止図記号	表示の意味
	製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止しています。

 アドバイス	製品の取り扱いで知っておくと便利な内容です。
--	------------------------

ご使用上の注意

・思わぬ事故につながるおそれがありますので、ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

お子さまが落ちるおそれがあります。

シートベルト(肩ベルト、腰ベルト、股ベルト)を外して使用しない。

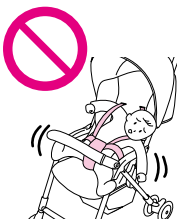


ベビーカーの中でお子さまを立たせない。



お子さまが立ち上がって落ちたりするおそれや、予期せぬ行動が思わぬ事故につながるおそれがあります。

シートベルトを締めていても、お子さまから目を離さない。



坂道などでベビーカーが勝手に走行、転倒するおそれがあります。

お子さまを乗せる時や降ろす時は必ずストッパーを左右共ロックし、ベビーカーが動かないことを確認する。



お子さまや荷物をのせた時には、ストッパーを過信しない。路面の状態、構造の機能上、耐久性などから、絶対に動かないようにできるものではありません。



お子さまを乗せたままベビーカーを離れない。



警告

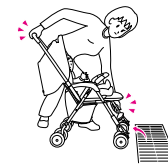
誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

路面の溝にベビーカーの車輪がはまり、前のめりになるなどしてバランスがくずれベビーカーや使用者が転倒するおそれがあります。

排水溝の格子状のふた(グレーチング)や踏切など、幅の広い溝がある路面を通過する必要がある時は、溝に車輪がはまる場合があるので、注意しながらゆっくり押すこと。



車輪がはまった時は、フレーム(パイプ)とハンドルを持って、はまった車輪を引き上げてください。その際はベビーカー全体を持ち上げないでください。



ベビーカーが転倒するおそれがあります。

二人以上のお子さまを同時に乗せたり、シート以外のところに乗せない。

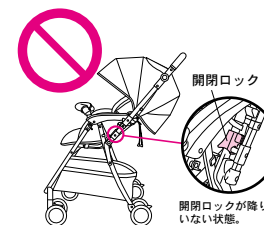


階段やエスカレーターなど大きな段差のあるところで使用しない。



ベビーカーが折りたたまれ、お子さまが落ちたり、挟まれるおそれがあります。

ご使用時は、開閉ロックが完全に下まで降りている事を確認する。



ベビーカーが後方転倒するおそれがあります。

カゴ以外のところに荷物を載せたり、ハンドルにつるしたりしない。また、ハンドルによりかかったりしない。



バランスを崩したり、足が見えなくて転倒するおそれがあります。

お子さまを乗せたまま持ち上げない。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

お子さまの首にベルトが巻き付き窒息するおそれがあります。



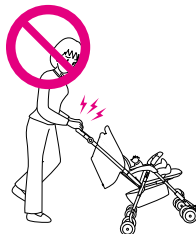
肩ベルトは必ず腰ベルトに差し込み、フリーにさせないこと。またお子さまの体格に合わせて調節すること。

路面の影響も加わって、ベビーカー内の温度が高くなるおそれがあります。



気温が高い時や日ざしが強い時は、長時間使用しない。

ベビーカーが破損し、ベビーカーや使用者が転倒するおそれがあります。



ハンドルに過度の荷重を掛けない。

可動部でお子さまの指や手足を挟んだり、ベビーカーが身体にぶつかるおそれがあります。



開閉操作は、お子さまが接触した状態や近くにいる時には行わない。

フロントガードを閉じる時は、お子さまの指や手足を挟まないように注意すること。



ベビーカーが破損し事故やけがにつながったり、思わぬ事故の原因になるおそれがあります。

- お子さまにベビーカーを操作させない。
- お子さまの股間を股ベルトの位置に合わせて乗せること。ベビーカーが後方に転倒するおそれがあります。
- 弊社サービス員以外は分解・組立・改造をしない。
- シートを外した状態で使用しない。

- 急激に力を加えたり、落下、投げ投げなどによる強い衝撃が加わった後に使用しない。
- お子さまの遊び道具として使用しない。
- 電車などのご利用時には、無理な乗り降りはない。ベビーカーが電車などの自動ドアにはさまれても感知されない場合があり、大変危険です。

注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

- 必ず定期的に点検とメンテナンスを行ってください。
- ご使用前に、ベビーカー本体とシート、日除けが正しく取り付けられていることを確認してください。
- 可動部品には、適時注油するようにしてください。注油にはシリコン滑走剤をご使用ください。
- 長期間で使用されていなかったベビーカーを再度ご使用になる場合には、必ず点検とメンテナンスを行ってください。
- 空車であっても、坂の途中や車道に近い歩道など、危険な場所にベビーカーを放置しない。
- ネジやナットなどがゆるんだ状態で使用しない。
- 2台のベビーカーを連結して使用しない。
- 前輪を持ち上げた状態で走行しない。後フレームの曲りや折れの原因になります。
- ベビーカーにお子さまを乗せて走行するときは、お子さまのために普通の歩き方(時速約4キロメートル位の速さ)で押す。
- ベビーカーを砂場や泥水のあるところで走行させない。砂などが入り車輪やキャスターがスムーズに回らなくなる原因となります。
- フレームに砂や泥の汚れをつけたままで使用しない。スライド部に砂などが入り開閉できなくなります。
- ベビーカー本体にはお子さまを乗せることを目的とした市販のボードなどは取り付けないでください。破損の原因となります。
- カゴに重量5kg以上の荷物を入れない。

- シートの取り外し、取り付け作業により、爪が傷つくおそれがありますので注意してください。
- 保護者、介添者などが、ベビーカーに腰掛けない。
- 荷物などの運搬のために使用しない。
- その他、お子さまを乗せる以外の目的で使用しない。
- バスの中では使用しないでください。本製品は、バスの中で使用することを目的として設計されたものではありません。本製品をバスの中で使用すると、カーブや急ブレーキなどで転倒や思わぬ事故につながります。
- 電車の中での使用について。本製品は電車の中で使用することを目的として設計されたものではありません。お客様の責任により、本製品を電車の中で使用するときは、カーブや急ブレーキなどで転倒するなどのおそれがありますので、必ずストッパーをかけて、充分注意してご使用ください。
- 雪が積もった所や、凍結した路面では使用しない。
- 風の強い時は使用しない。
- 雷の時は使用しない。
- 室内、火気の近く、高温になる場所ではレインカバーなどを使用しないでください。ベビーカー内部の温度が高くなりすぎるおそれがあります。
- 火の近くに置いたり、炎天下で高温になる車中に放置しない。プラスチック部品が変形し、性能を維持できなくなります。
- その他、ベビーカーの故障の原因となるようなことはしない。

- 段差を無理に乗り越えようとししないでください。破損や故障の原因となります。

〈段差の乗り越え方〉

〈対面の場合〉

対面での使用の場合は、ステップに足裏をあて、ハンドルを手前に引いて乗り越えてください。



〈背面の場合〉

背面での使用の場合は、ハンドルを押し下げ、同時にアームレスト部を引き上げて乗り越えてください。

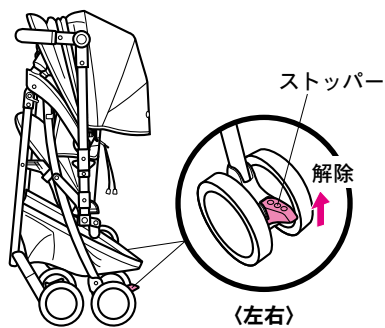


製品を取り出した時に

はじめて製品を取り出した時に、本体とすべての部品が揃っているか、またそれらに破損がないことを確認してください。万一欠品や破損の際は、ご使用を中止し、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。(P33参照)

部品リスト

- 〈本体〉
- ・箱から取り出した時は折りたたんだ状態です。
 - ・ベビーカーを開く時は P9 を参照してください。



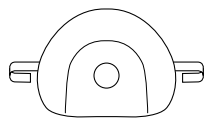
〈製品を取り出した時には〉

- ・ストッパーがロックされた状態になっています。ご使用前にストッパーをロック解除してください。(P13 参照)

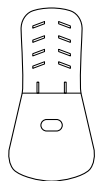
⚠ 注意

- ・ご使用前にストッパーをロック解除してください。(P13 参照)

〈付属品〉



ヘッドサポート
〈本体に装着されています〉



シートライナー(一部モデルのみ)
〈本体に装着されています〉



取扱説明書(本書)

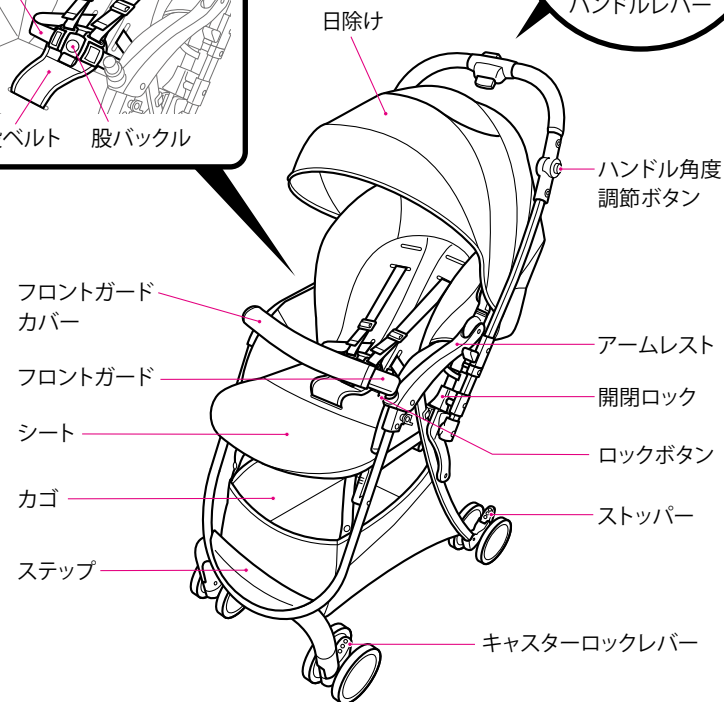
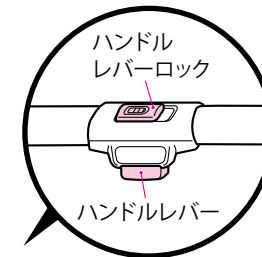
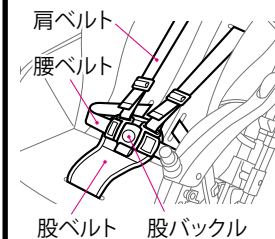
⚠ 警告

- ・製品が入っていた箱、梱包部材、ポリ袋をお子さまの手の届く所に放置しない。お子さまがかぶったりして窒息するおそれがあります。

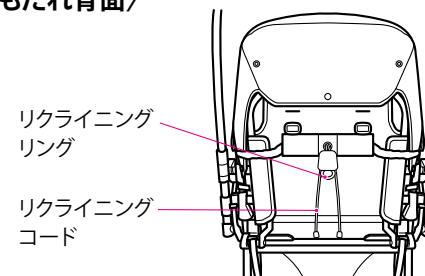
各部の名称

〈シートベルト〉

シートベルトは肩ベルトと腰ベルト、股ベルトの総称です。



〈背もたれ背面〉



品名・品番 ロット番号シール

- ・保証書記入時にご参照ください。

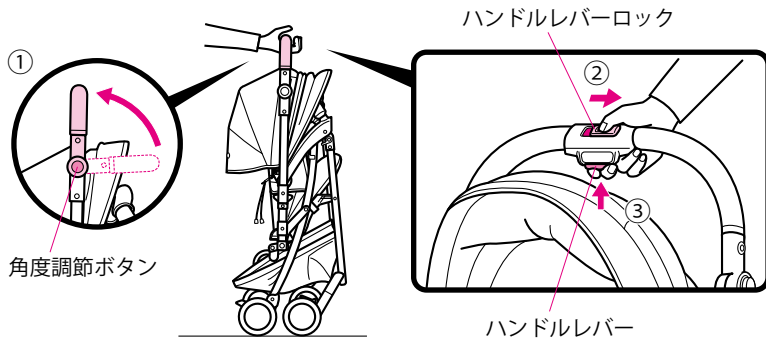
ベビーカーの開き方

警告

- ・開閉操作は、お子さまが接触した状態や近くにいる時には行わない。可動部でお子さまの指や手足を挟んだり、ベビーカーが身体にぶつかるおそれがあります。
- ・お子さまにベビーカーを操作させない。転倒や思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

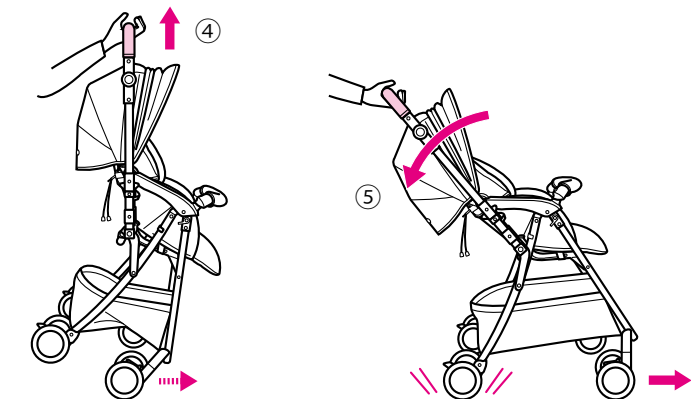
お願い

- ・梱包の関係上、最初はスムーズに開閉しない場合があります。2~3回繰り返して操作してください。



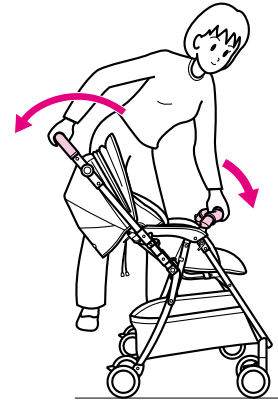
①両手で左右の角度調節ボタンを押しながら、ハンドルをまっすぐに起こす。

②ハンドルレバーロックを矢印の方向へスライドさせた状態で、(赤色が表示されます。)
③ハンドルレバーを強く握る。



④ベビーカーを少し持ち上げる。

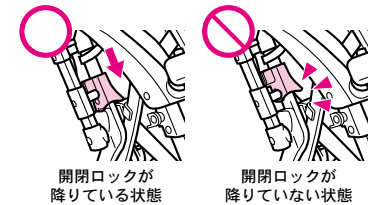
⑤ハンドルを矢印の方向へ動かし開く。



・片手で開きにくい場合は、ハンドルとフロントガードを持って開いてください。

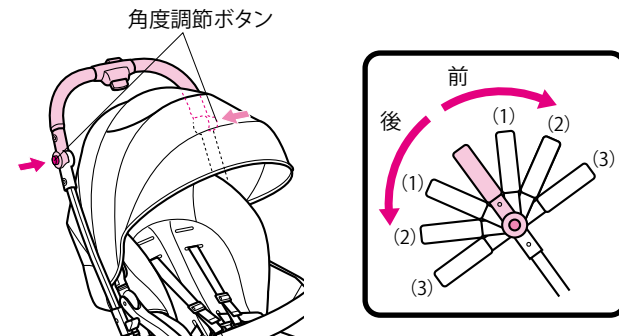
警告

- ・ご使用時は開閉ロックが完全に下まで降りていることを確認すること。ベビーカーが折りたたまれ、お子さまが落ちたり、挟まれるおそれがあります。



〈ハンドルの角度調節〉

- ・ハンドルの角度を変えて高さを調節することができます。(7段階調節)



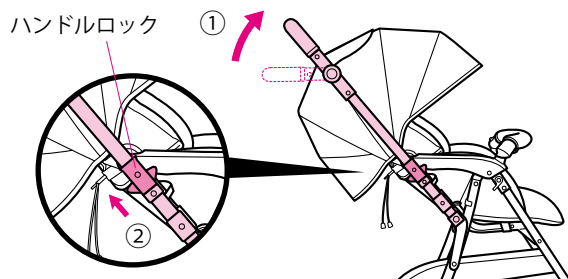
①両手で左右の角度調節ボタンを押しながら、ハンドルの角度を調節する。
②使用する角度で角度調節ボタンをはなす。

ハンドルの切替え

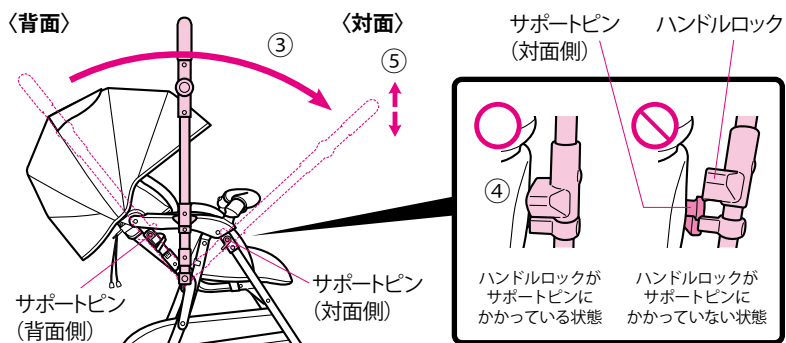


警告

- ハンドルを切替える時は、お子さまの指や手足を挟まないように注意すること。
- 坂道ではハンドル切替えを行わない。ベビーカーが思わぬ方向に動き出し、転倒してお子さまが落ちる場合があります。
- ベビーカーを押しながら、ハンドルの切替え操作をしない。
- ハンドルを『背面から対面』、『対面から背面』へ切替えた際は、ハンドルロックがサポートピンに左右とも確実に掛かっていることを確認し、さらにハンドルを上下に動かし、ロックされたことを確認する。ハンドルロックが正常にかかっていない場合、ベビーカーが転倒するおそれがあります。



- ①ハンドルをまっすぐに起こす。
- ②ハンドルロック(左右)を同時に引き上げながら、



- ③ハンドルの向きを切替え、
- ④ハンドルロックをサポートピンにかける。(左右)
- ⑤ハンドルを上下に動かし、ハンドルがロックされたことを確認する。

・イラストは背面から対面へのハンドル切替えを示していますが、対面から背面への切替えの場合も同様の手順とロックの確認を行ってください。

キャスターの使い方(前輪のみ)

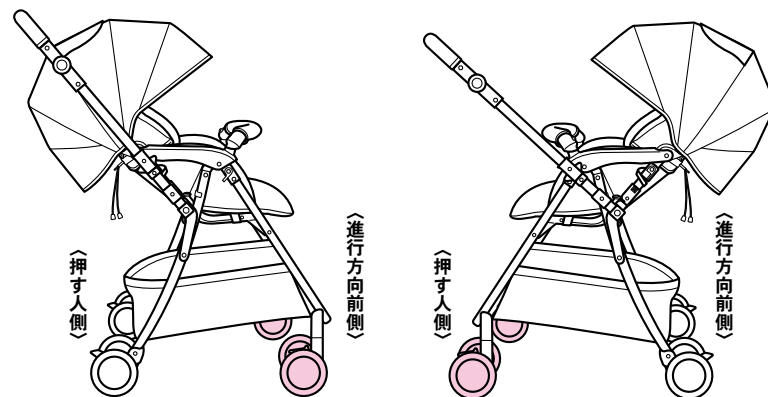


注意

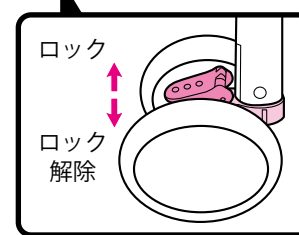
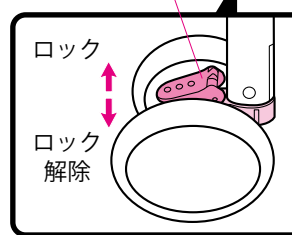
- キャスターをロックする位置は背面と対面では違います。キャスターロックレバーは、必ずベビーカーを押し人側に向けてロックする。ロックする位置を間違えて使用すると、破損の原因となります。

背面走行 → 進行方向

対面走行 → 進行方向



キャスターロックレバー



🔒 <キャスターをロックする場合>

- 凸凹道、坂道、傾斜地などの走行には一時的にキャスターを左右共ロックすると押しやすくなります。
- キャスターロックレバーを押し上げ、ロックする。(左右)

🔓 <キャスターをロック解除する場合>

- 通常はこの状態でご使用ください。
- キャスターロックレバーを押し下げ、ロック解除する。(左右)

ストッパーの使い方(後輪のみ)

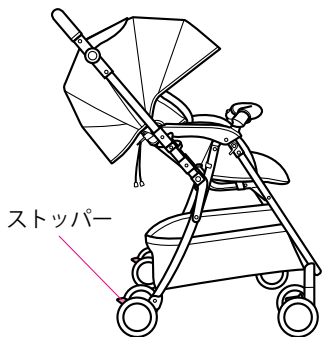
警告

- ・お子さまを乗せる時や降ろす時は必ずストッパーを左右共ロックすること。
- ・お子さまを乗せた時には、ストッパーを過信しない。路面の状態、構造の機能上、耐久性などから、絶対的に動かないようにできるものではありません。
- ・ストッパーをロックしていても、お子さまを乗せたままベビーカーから離れない。

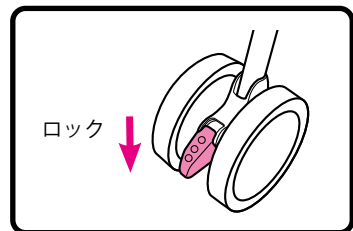
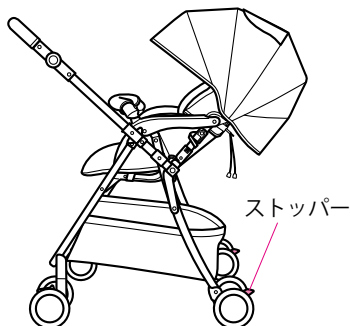
注意

- ・お子さまを乗せていない時でも、ベビーカーから離れる場合は、ストッパーを左右共ロックしてください。

背面走行 →
進行方向

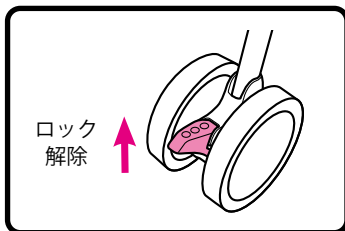


対面走行 →
進行方向



〈ストッパーをロックする場合〉

- ①ストッパーレバーを押し下げる。(左右)
- ②ベビーカーを軽く前後に動かしてロックがかかっていることを確認する。



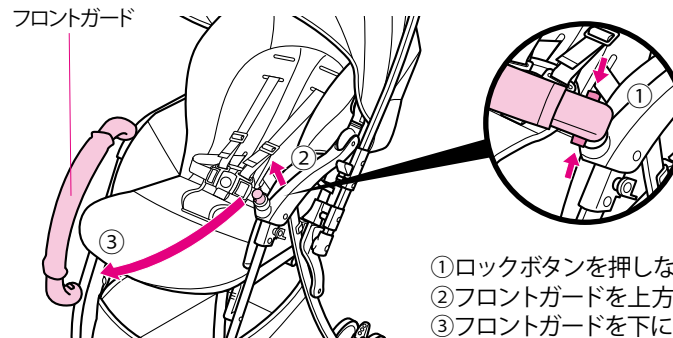
〈ストッパーをロック解除する場合〉

- ストッパーレバーを押し上げる。(左右)

フロントガードの開き方

警告

- ・フロントガードを閉じる時は、お子さまの指や手足を挟まないようにすること。
- ・フロントガードを持って、お子さまを乗せたままのベビーカーを持ち上げたり、引っ張ったりしない。

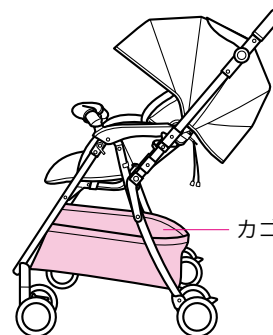


- ①ロックボタンを押しながら、
- ②フロントガードを上方向に引き抜き、
- ③フロントガードを下に降ろす。

カゴの使い方

警告

- ・カゴには鋭利な形状をした物を入れない。カゴが損傷することがあります。
- ・重量5kg以上の荷物を入れない。
- ・ベビーカーを折りたたむ時は荷物を取り出す。
- ・カゴには貴重品などを入れない。



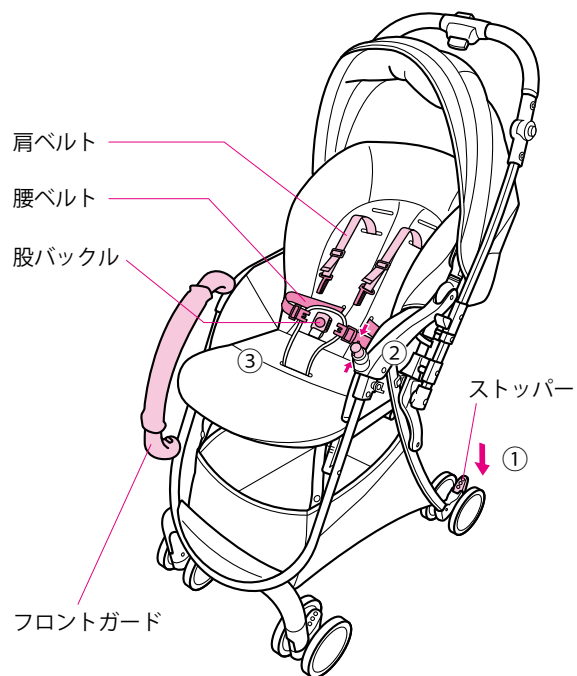
- カゴの上部から荷物の出し入れをする。



- ・荷物はできるだけカゴ底に均等に荷重が加わるように載せてください。

お子さまの乗せ方

〈準備〉



① ストッパーをロックする。(左右)

② フロントガードを開く。

・ガードボタンを押して開く。

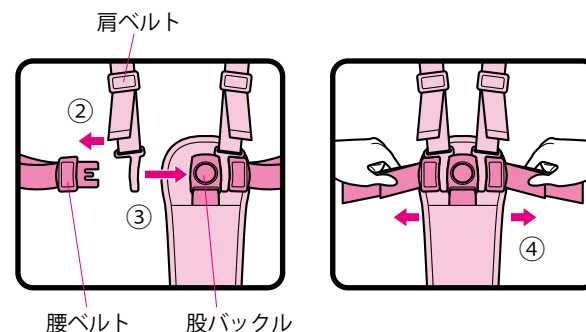
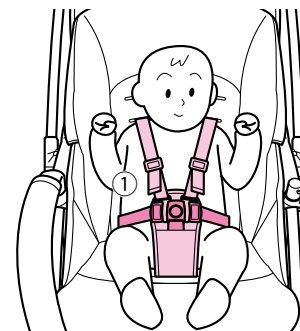
③ 肩ベルト、腰ベルトを外す。

・股バックルを押して腰ベルト、肩ベルトを外す。

・肩ベルト位置を変える時は、
P19「肩ベルトの高さ調節」を参照ください。

・リクライニングの角度を変える時は、
P20「リクライニングの角度調節」を参照ください。

〈お子さまを乗せてシートベルトを締める〉



① お子さまを乗せる。

② 肩ベルトを腰ベルトに差し込む。

③ 腰ベルトを股バックルに差し込む。

④ 左右の腰ベルトを引っ張って外れないことを確認する。

※肩ベルトと腰ベルトの長さは、お子さまの体格と姿勢に合わせて調節してください。(P17参照)



・肩ベルトは装着時に警告ラベルが表に来るようにして使用してください。

・肩ベルトがねじれていないか確認してください。



警告

・シートベルトを締めた後は、左右の腰ベルトを引っ張って外れないことを確認する。締め方が不完全な場合、使用中に外れてお子さまが落ち、けがをするおそれがあります。

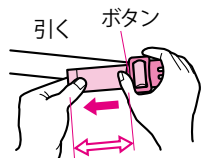
・肩ベルトは必ず腰ベルトに差し込んで使用し、フリーにさせないこと。肩ベルトがお子さまの首に巻き付くおそれがあります。

・シートベルトを締めていても、お子さまから目を離さない。お子さまが立ち上がって落ちたりするおそれや、予期せぬ行動が思わぬ事故につながるおそれがあります。

・お子さまの股間を股ベルトの位置に合わせて乗せること。ベビーカーが後方に転倒するおそれがあります。

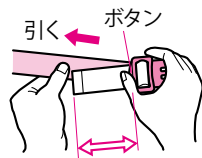
〈腰ベルトの調節〉

〈締める時〉

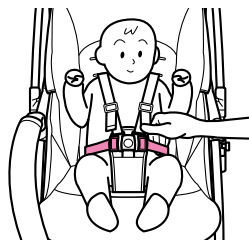


出しは3cm以上残す

〈緩める時〉



出しは3cm以上残す

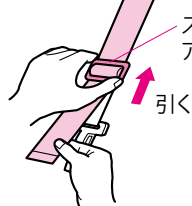


- ボタンを押しながらベルトを引き、長さを調節する。

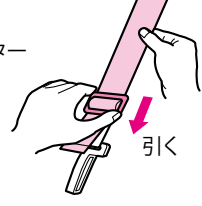
・腰ベルトの長さは腰ベルトとお子さまの間に大人の指が4本入る程度が適当です。

〈肩ベルトの調節〉

〈締める時〉



〈緩める時〉



- スライドアジャスターを引き、長さを調節する。

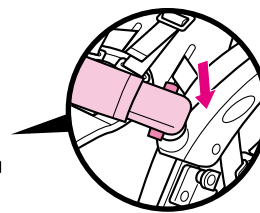
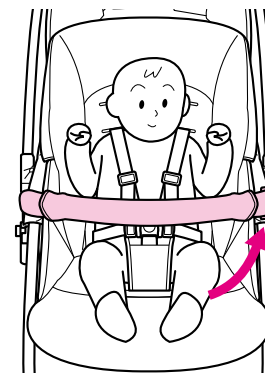
・肩ベルトの長さは肩ベルトとお子さまの間に大人の指が1本入る程度が適当です。



警告

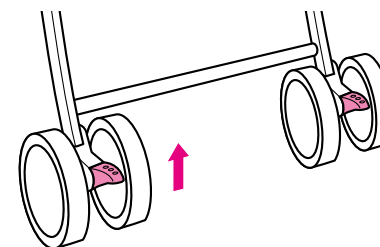
- ・肩ベルト、腰ベルトはお子さまの成長に合わせて調節すること。肩ベルト、腰ベルトがゆるい場合は、締めていても立ち上がり、お子さまが落下するおそれがあります。
- ・フロントガードを閉じる時にお子さまの指を挟まないよう注意すること。
- ・フロントガードを装着した後、確実にロックされているか引っ張り、確認する。
- ・お子さまを乗せたまま、フロントガードを持ち上げない。
- ・腰ベルトの末端の出しは(⇔部分)は必ず3cm以上残す。
- ・リクライニングの角度を調節するたびに、肩ベルト、腰ベルトの長さを調節する。

〈フロントガードを閉じる〉



フロントガードを差し込む。

〈ストッパーをロック解除する〉

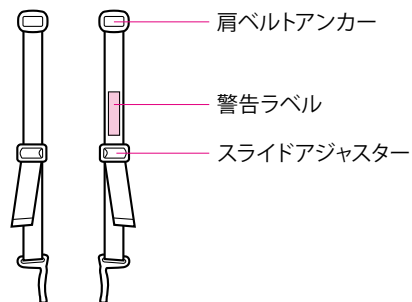


- ストッパーレバーを押し上げる(左右)

肩ベルトの高さ調節

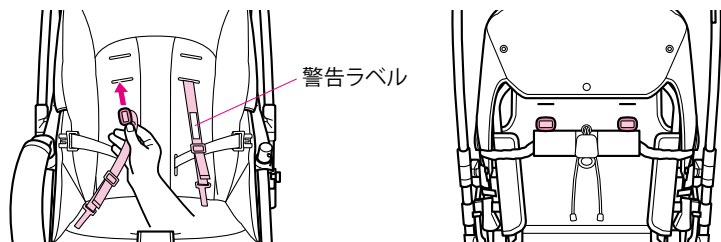
警告 ・お子さまの成長に合わせて肩ベルトの高さを調節してください。

〈肩ベルト各部の名称〉

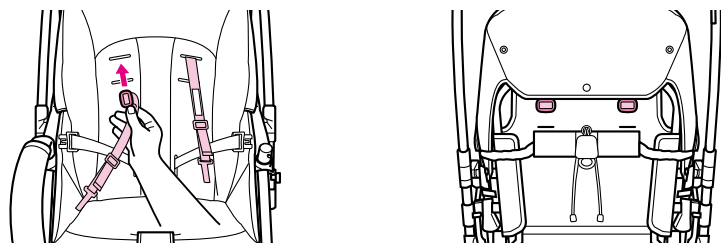


アドバイス ・肩ベルトは装着時に警告ラベルが表に来るようにして使用してください。
・肩ベルトがねじれていないか確認してください。

〈下段の肩ベルト通し穴〉



〈上段の肩ベルト通し穴〉



① お子さまの肩の高さに一番近いシート
の肩ベルト通し穴に、肩ベルトアンカーをひ
ねって差し込む。

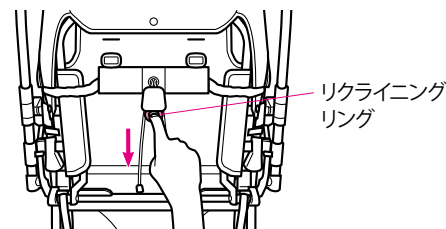
② シート背面から、差し込んだ肩ベル
トアンカーを引き出す。差し込み後、
2~3回引つ張り、肩ベルトが外れな
いことを必ず確認する。

リクライニングの角度調節

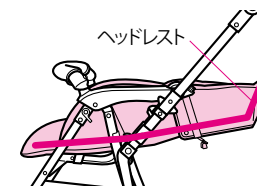
警告 ・お子さまを乗せて背もたれを倒す時は肩ベルトをゆるめてから行う。
・リクライニングの調節後は、肩ベルト、腰ベルトの長さを調節する。
肩ベルトや腰ベルトがゆるい場合は、締めていても立ち上がり、お子さ
まが落下するおそれがあります。

注意 ・ベビーカーを押しながらリクライニングの調節をしない。
・お子さまを乗せたままリクライニング調節をする時は、お子さまの体重
を支え、急に角度が変わらないように注意する。
・ひとり座りができないお子さまは、背もたれを倒して使用する。

〈リクライニングを倒す時〉



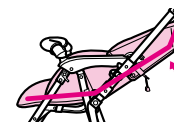
〈一番倒した状態〉



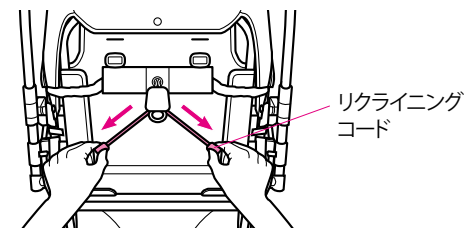
● 片方の手でお子さまを支えて、リクライニング
リングを引く。
リングを引きながら背もたれを倒し、角度を
調節する。

・背もたれを一番倒した状態
にすると、ヘッドレストが起き
上がります。

アドバイス ・ひとり座りができるお子さまで、ヘッドレストの位置
に頭がくる場合には、背もたれを倒した時に無理な
姿勢になりますので、ヘッドレストが起き上がらない
位置にリクライニング角度を調節してください。



〈リクライニングを起こす時〉



● お子さまの体重が背もたれにかかっていない状態で、
リクライニングコードを左右に引く。

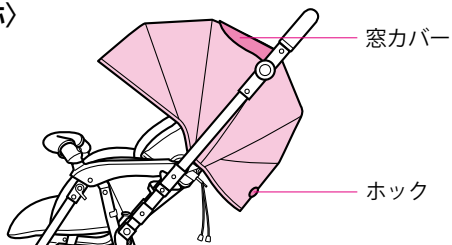
日除けの使い方



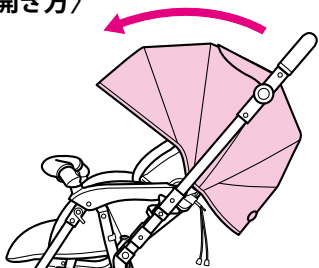
警告

・日除けを開いたり折りたたんだりする時は、お子さまが接触した状態では行わない。可動部でお子さまの指や手を挟むおそれがあります。

〈日除け各部の名称〉

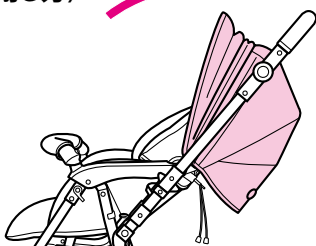


〈開き方〉



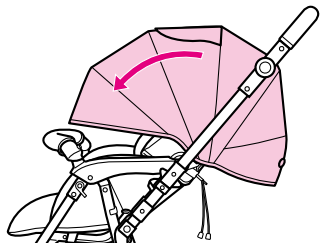
・日除けを前方に開く。

〈閉じ方〉

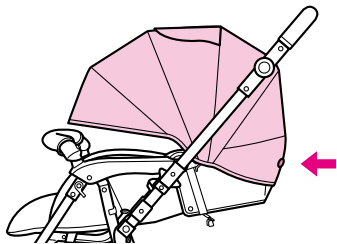


・日除けを閉じる。

〈日除けの角度調節〉

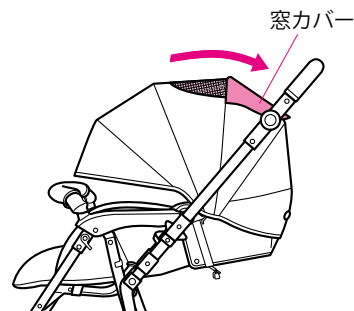


①日除けを開いた状態で前方向に開き、使用する位置でとめる。



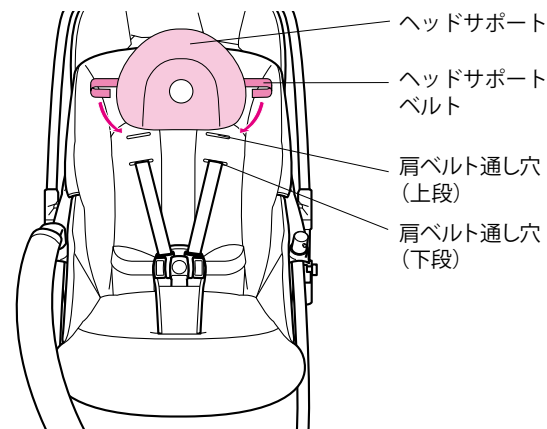
②背もたれを倒した時は、日除けのホックをヘッドレスト後側のホックにとめる。(左右)

〈窓カバーの開き方〉



・日除けの窓カバーを開けると、窓からお子さまの様子を見ることができます。

ヘッドサポートの使い方



- ヘッドサポートベルトを肩ベルト通し穴に通し、面ファスナーでとめる。
- ・お子さまの頭の位置に合わせた肩ベルト通し穴に取り付けてください。
- ・シートライナー(一部モデルのみ)をご使用の際は、シートライナーの上からヘッドサポートを取り付けてください。(シートライナーの肩ベルト通し穴とシートの肩ベルト通し穴にヘッドサポートベルトを通して取り付けます。)

ベビーカーの折りたたみ方



警告

- ・開閉操作は、お子さまが接触した状態や近くにいる時には行わない。可動部でお子さまの指や手足を挟んだり、ベビーカーが身体にぶつかるなどしてけがをするおそれがあります。
- ・お子さまにベビーカーを操作させない。転倒や思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



注意

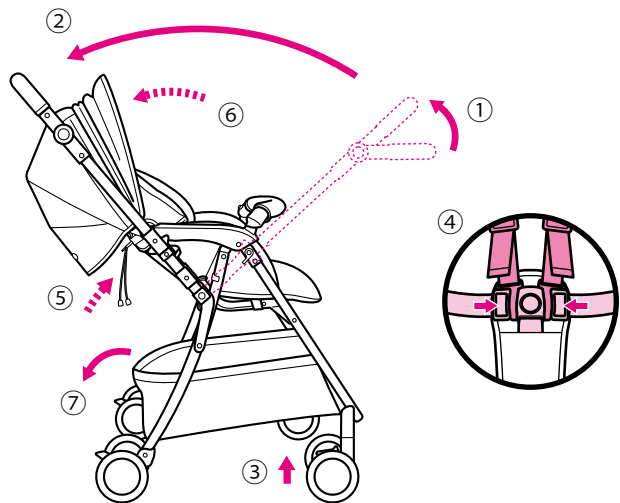
- ・肩ベルト、腰ベルトを股バックルに差し込んでからベビーカーを折りたたむこと。股バックルが破損するおそれがあります。



アドバイス

- ・片手で折りたためない場合は、ハンドルとフロントガードを持って折りたたんでください。

〈準備〉ベビーカーを折りたたむ前に

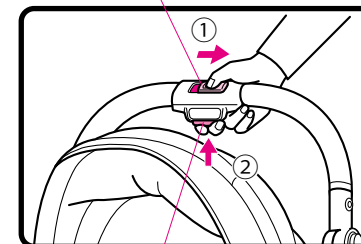


- ①ハンドルをまっすぐに起こす。(P9参照)
- ②ハンドルを背面に戻す。(P11参照)
- ③左右のキャスターをロックする。(P12参照)
- ④肩ベルト、腰ベルトを股バックルに差し込む。(P16参照)
- ⑤背もたれを起こす。(P20参照)
- ⑥日除けを閉じる。(P21参照)
- ⑦カゴから荷物を取り出す。(P14参照)

〈ロックの解除〉



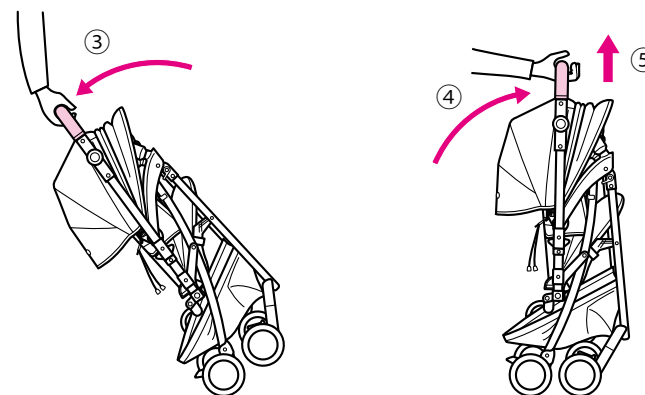
ハンドルレバーロック



ハンドルレバー

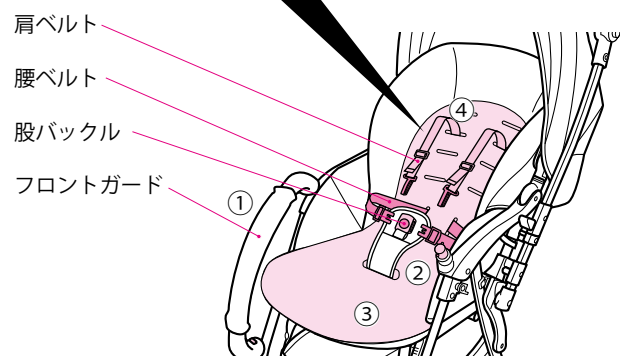
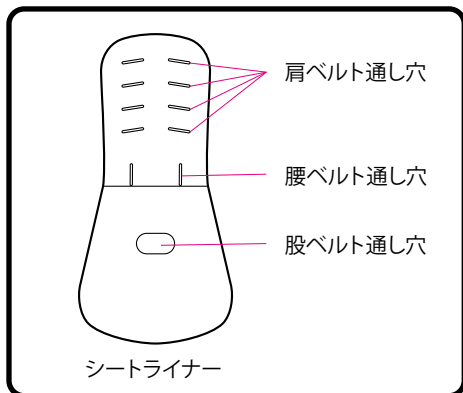
- ①ハンドルレバーロックを矢印の方向へスライドさせた状態で、(赤色が表示されます。)
- ②ハンドルレバーを強く握る。

〈折りたたむ〉



- ③握ったまま、車体を後ろに傾け、折りたたむ。
- ④車体を起こし、ハンドルレバー、ハンドルレバーロックから手を離す。
 - ・開閉ロックが自動でスライドしロックがかかります。
- ⑤ベビーカーを持ち上げて開かないことを確認する。

シートライナー(一部モデルのみ)の使い方

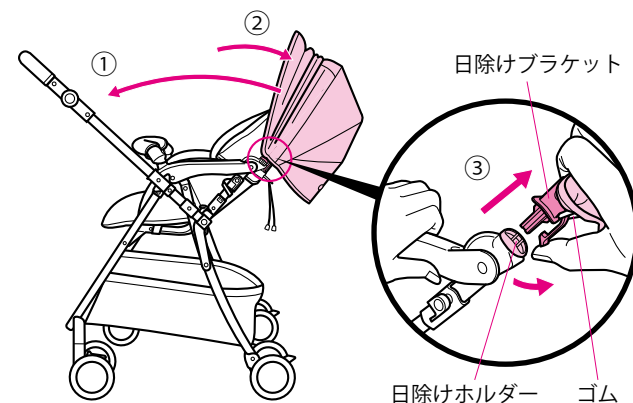


- ①フロントガードを開く。
- ②股バックルを押して、股ベルト、腰ベルト、肩ベルトを外す。
- ③シートライナーをシートの上に乗せ、股ベルト、腰ベルトを各通し穴に通す。
- ④肩ベルトをシートライナーの肩ベルト通し穴に通す。(左右)

アドバイス ・お子さまの肩の高さに一番近い肩ベルト通し穴を使用してください。
・肩ベルトがねじれていないか確認してください。

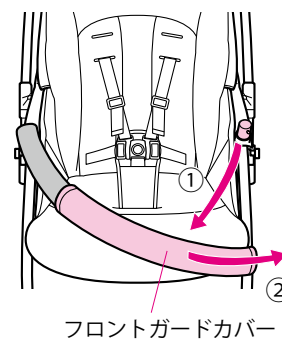
・ヘッドサポートをご使用の際は、シートライナーの上から取り付けてください。(シートライナーの肩ベルト通し穴とシートの肩ベルト通し穴にヘッドサポートベルトを通して取り付けます。)

日除けの取り外し方



- ①ハンドルを対面に切替える。(P11参照)
 - ②日除けを閉じる。(P21参照)
 - ③日除けブラケットの下側のツメを指先で手前に引き、日除けホルダーから引き抜く。(左右)
- ・日除けを取り付ける時は、ゴムが外れていないことを確認する。
 - ・日除けの取り付けは逆の手順で行ってください。

フロントガードカバーの取り外し方



- ①フロントガードを開く。(P14参照)
- ②フロントガードカバーを抜き取る。

・取り付けは逆の手順で行ってください。

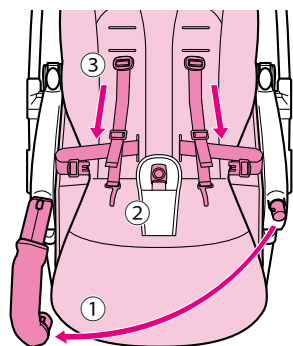
シートの取り外し方



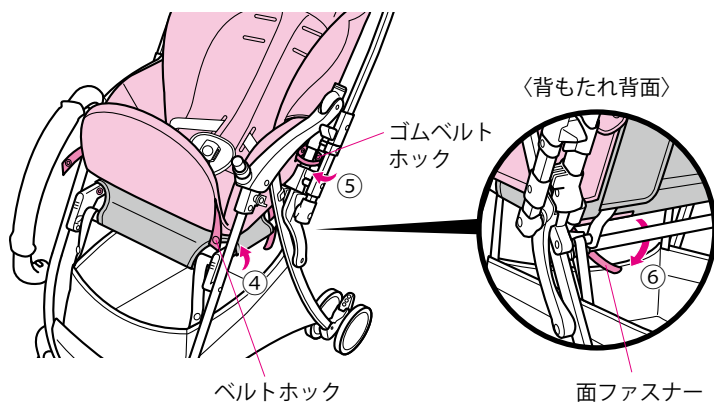
警告

・シートを外した状態で使用しない。ベビーカーが破損し事故やけがにつながったり、思わぬ事故の原因になるおそれがあります。

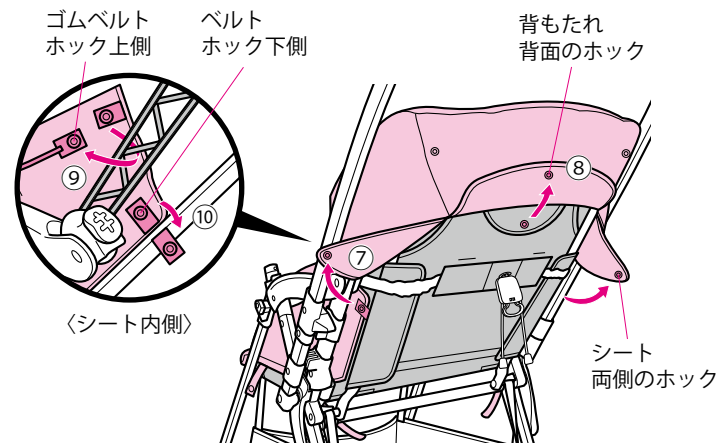
〈準備〉・日除けを取り外す。(P26参照)



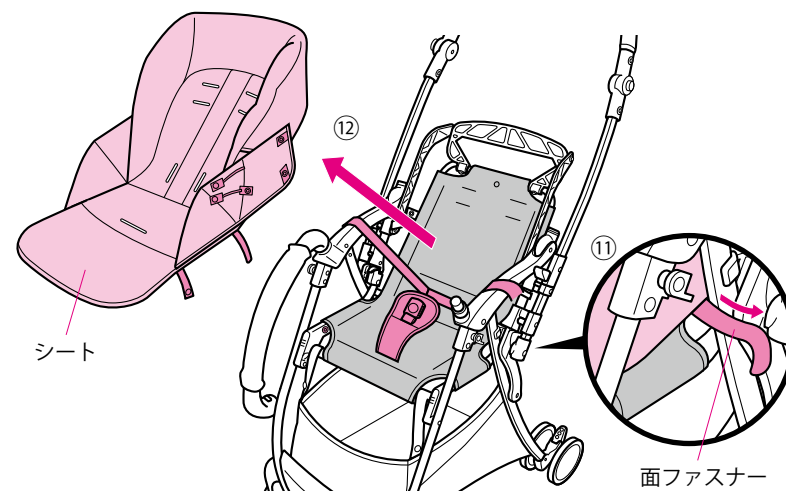
- ①フロントガードを開く。(P14参照)
- ②バックルボタンを押し、肩ベルト、腰ベルトを外す。
- ③肩ベルトを引き抜く。(左右)



- ④シート座面裏側のベルトホック(2カ所)を外す。
- ⑤シート両側のゴムベルトホック(2カ所)を外す。
- ⑥シート座面裏側の面ファスナー(2カ所)を外す。

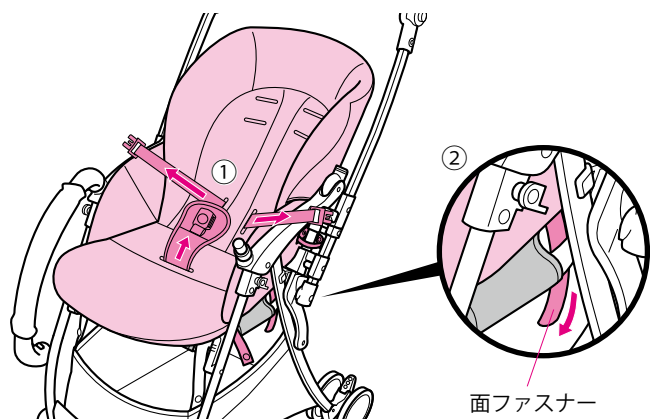


- ⑦シート両側のホック(2カ所)を外す。
- ⑧背もたれ背面のホックを外す。
- ⑨ゴムベルトホック上側(2カ所)を外し、抜き取る。
- ⑩ベルトホック下側(2カ所)を外す。

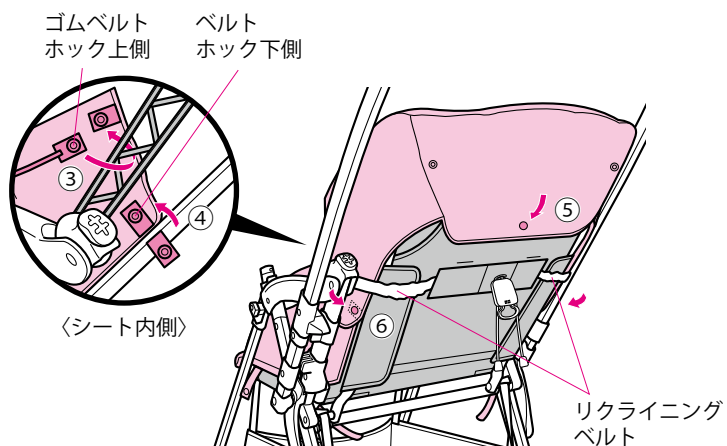


- ⑪手順⑥で取り外した面ファスナー(2カ所)を抜き取る。
- ⑫股ベルトと腰ベルトをシートから引き抜き、シートを取り外す。

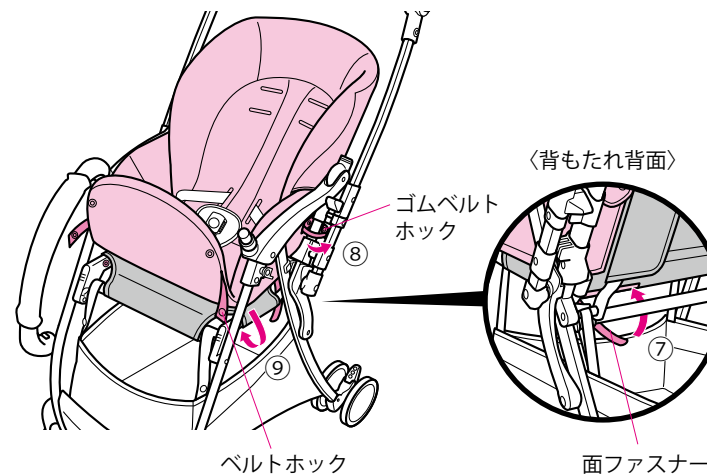
シートの取り付け方



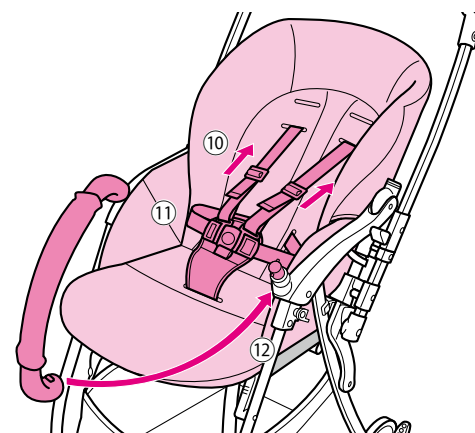
- ① 股ベルトと腰ベルトを通し穴に通し、シートを取り付ける。
- ② シート座面裏側の面ファスナー(2カ所)を通し穴に通す。



- ③ ゴムベルトホック上側(2カ所)を通し、ホックをとめる。
- ④ ベルトホック下側(2カ所)をとめる。
- ⑤ 背もたれ背面のホックをとめる。
- ⑥ シートをリクライニングベルトの内側に通し、両側のホック(2カ所)をとめる。



- ⑦ シート座面裏側の面ファスナー(2カ所)をとめる。
- ⑧ シート両側のゴムベルトホック(2カ所)をとめる。
- ⑨ シート座面裏側のベルトホック(2カ所)をとめる。



- ⑩ 肩ベルトを取り付ける。(P19参照)
- ⑪ 肩ベルト、腰ベルトを股バックルに差し込む。
- ⑫ フロントガードを取り付ける。

〈シート取り付け後〉・日除けを取り付ける。(P26参照)

お手入れとメンテナンス

安全にご使用いただくためにベビーカーを定期的に点検し、ボルトゆるみ、部品の破損、破れやほつれがないかを確認してください。お取り替えが必要と判断された場合は、ご使用を中止し、弊社お客様サポートセンターまでお問い合わせください。(P33参照)



警告

・破損・異常が発生した場合、又は発見した場合は、そのまま使用せず、弊社お客様サポートセンターまでお問い合わせください。



注意

・縫製品は厳しい試験に合格したものを使用していますが、色あせ、色落ちがまったくしないものではありません。

縫製品のお洗濯

以下の洗濯表示に注意して、取り外し可能なシート、フロントガードカバー、ヘッドサポート、シートライナーは手洗いで洗濯し、絞らずに形を整えてから屋内の日陰で平干しにしてください。



※ねじり又は絞り禁止

日除け、肩ベルト、腰ベルト、カゴが汚れた場合は以下の要領で洗浄してください。

◎水溶性の汚れ(果汁、ヨダレ、オシッコなど)の場合

40℃前後の湯にタオルを浸し、軽く絞って汚れた所を十分に洗います。その後、乾いたタオルなどで十分に水分を取って日陰で乾燥させます。

◎非水溶性の汚れ(牛乳、油脂、マヨネーズなど)の場合

中性洗剤を40℃前後の湯に溶かし、汚れた所をブラシまたはスポンジで軽く洗います。その後、冷水又は温水で中性洗剤を洗い流し、乾いたタオルなどで十分に水分を取って、日陰で乾燥させます。

車体のお手入れ

【フレームや車輪のお手入れについて】

◎ベビーカーのフレームや車輪についた泥・ホコリなどは、そのまま放置しないで必ずよく絞ったぬれタオルなどを使用して拭き取ってください。また、ベビーカーを海辺などで使用した際は、本体をきれいにし、機械部分と車輪から砂や塩分を取り除いてください。

◎車輪は消耗品です。走行に異常を感じた時はタイヤの交換が必要な場合があります。弊社お客様サポートセンターまでお問い合わせください。(P33参照)

【ネジ・ナット類について】

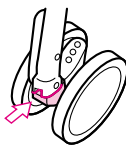
◎ネジ、ナット類のゆるみがないか、時々点検してください。ゆるみがある場合は、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。(P33参照)

【注油について】

◎前輪キャスターがスムーズに回転しなかったり車輪がきしむ場合は、シリコン滑走剤を図の矢印の箇所にさして使用してください。

◎注油の前には、泥やほこりを落とし、十分に水分を拭き取ってください。

◎注油は、1カ所につき2~3滴としてください。



注意

・拭き取りにはシンナー、ベンジンなどの揮発性の溶剤を使用しない。

保管方法

◎本体をポリ袋などに入れ、直射日光の当たらない、冷暗所に保管してください。

◎上に荷物を置いたり、圧力が加わるような状態で保管しないでください。故障や変形の原因となります。



注意

・日除けの変形を防ぐため、横向きに寝かせたり、上に荷物を置いたりしないでください。
・火の近くに置いたり、炎天下で高温になる車中に放置しないでください。プラスチック部品が変形し、性能を維持できなくなります。

廃棄方法

◎お住まいの各自治体の指示にしたがって処分してください。

(環境保護のため、指示された場所以外には放置しないでください。)

SGマーク制度について



SGマーク付き製品は安全性が高く、安心してお使いいただけるものですが、製品安全協会では損害保険会社と生産物賠償責任保険の契約を結んでおり、SGマーク付き製品の欠陥により、人身被害が生じたと認められる場合、事故原因、被害の程度などに応じて、賠償措置を実施します。

ただし、ベビーカーの場合、ご購入後4年以内の製品が対象となります。

賠償についてのご注意

SGマーク被害者救済制度は、SGマーク付き製品の欠陥によって傷害などの身体的な損害(人的損害)について賠償する制度です。この制度は、SGマーク付き製品そのものが故障した場合に補償するものではなく、また、SGマーク付き製品の欠陥によって他の物に生じた損害(物的損害)を賠償するものではありません。

製品の欠陥によって事故が起きた場合

事故が起きたら、すぐに製品安全協会へ連絡してください。連絡後、製品安全協会から送付されてくる事故発生届等を提出していただきます。(原則として60日以内)

製品安全協会

〒110-0012 東京都台東区竜泉2-20-2 ミサワホームズ三ノ輪2階

TEL 03-5808-3300

〈事故の届出に必要な項目〉

- ①事故の原因となったSGマーク表示の製品
イ) 製品の名前、SGマーク番号 ロ) 製品の購入先、購入年月
- ②事故発生の状況
イ) 事故発生年月日 ロ) 事故発生場所 ハ) 事故発生状況
- ③被害の状況
イ) 被害者の氏名、年齢、性別、職業、住所 ロ) 被害の状況と程度

保証とアフターサービスについて

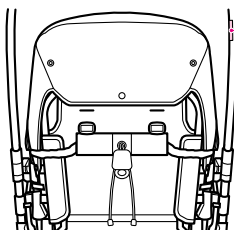
〈保証について〉

- ・保証期間中(お買い上げ日より1年間です。)に部品の欠品、不良加工など弊社の責任によるもの、取扱説明書や注意書きにしたがった正常な使用状態で故障した場合には、保証規定にもとづき無償修理を致します。故障の箇所によっては、修理できない場合がございます。ただし、ご購入日より3年以上経過した製品についての修理はいたしますが、製品の修理箇所以外の品質の保証はいたしかねます。(修理箇所の保証期間は1カ月です。)
- また、製造中止後の製品については、修理必要部品の在庫がなくなった場合、修理が出来ないこともあります。(部品の保有期間は、製造中止後3年間です。ただし、3年以内であっても部品の色、柄などについては、ご希望に添えない場合があります。)

〈アフターサービスについて〉

- ・ご使用中に故障などが発生したり、点検中に発見した場合、部品の交換または修理の必要が生じた場合、各部の固定部などにゆるみやきしみ音があったり、部品の欠落、車輪の回転の円滑さに異常がある場合、及びその他異常を感じた場合は、ご使用を中止し製品名・品番・ロット番号(下図参照)をご確認のうえ、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。

- ・お問い合わせの際に、スムーズな対応が行えますよう、ハンドル内側シールの品名・品番・ロット番号を必ずお伝えください。



品名・品番
ロット番号シール
(ハンドル内側)

お買い上げ時レシート
貼り付け位置

- ・お問い合わせの際に、スムーズな対応が行えますよう、ベビーカーお買い上げ時のレシート(領収書)を貼り付けてください。

アフターサービスについての連絡先

ニューウェルブランズ・ジャパン合同会社

〈電話連絡先〉

ベビー事業部 お客様サポートセンター TEL 0120-415-814

携帯電話からご利用の場合(通話料お客様負担) TEL 0570-004-155

受付時間: AM10:00~PM5:00(土、日、祝日、弊社所定休日を除く)